
[成果情報名] 筑後平坦地における酒造用一般米品種「夢一献」の高品質安定栽培法
[要約] 筑後平坦地において、酒造用一般米品種「夢一献」の収量および酒造適性が安定して優れる施肥法は、5+3+2(基肥+第1回穂肥+第2回穂肥窒素量kg/10a)である。また、「夢一献」は6月30日の晩植で収量性が優れる。
[キーワード] 水稻、夢一献、施肥、酒造適性、晩植
[担当部署] 筑後分場・水田高度利用チーム
[連絡先] 0944-32-1029
[対象作目] 水稻 [専門項目] 栽培 [成果分類] 技術改良

[背景・ねらい]

日本酒の消費量は年々減少し、実需者の間では消費拡大へ向けた特色のある酒造りへの取り組みが急務となっており、独自の酒造用一般米品種の導入に対する要望も高い。このため、酒造用一般米の主産地である筑後平坦地では、本県のオリジナル品種「夢一献」への切り替えが始まっている。一方、酒造用一般米には大粒でタンパク質含有率が低く、吸水性や消化性に優れることが求められる。

そこで、筑後平坦地における酒造用一般米品種「夢一献」の高品質安定栽培法を確立する。

[成果の内容・特徴]

- 1 . 10 a 当たり基肥窒素量 5 kgは、7 kgに比べて収量は同程度で、千粒重が重い(表1)。また、精米の吸水性が優れ(20分間浸漬後の吸水率と120分間浸漬後の最大吸水率が高い)、Brix度が高く、酒造適性が明らかに優れる(表2)。
- 2 . 10 a 当たり穂肥窒素量3+2kg(第1回穂肥+第2回穂肥)は、3+0kgに比べて、千粒重が重く、5%程度多収となる(表1)。一方、玄米のタンパク質含有率は高くなり、Brix度が低くなる。しかし、「ニシホマレ」に比べてタンパク質含有率は1%程度低く、砕粒率や吸水性、Brix度等の酒造適性は優れる(表2)。
- 3 . 「夢一献」は、6月30日の晩植で収量性が優れる(表3)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 . 酒造用一般米品種「夢一献」の高品質安定栽培技術として、水稻栽培技術指針に登載する。
- 2 . 酒造用一般米生産地域において計画的な契約栽培を行う。

[具体的データ]

表1 施肥法別の生育、収量および品質 (平成17~18年平均)

施肥法	出穂	成熟	稈	有効	倒伏	m ² 全	登熟	千粒	精玄	検査	玄米	
基肥 穂肥	期	期	長	穂数	程度	歩合	歩合	重	米重	等級	タ ^o ク	
Nkg/10a	月.日	月.日	cm	本/m ²		x100	%	g	kg/a		%	
5	3+2	8.24	10.6	69	389	0.3	264	83	24.3	56.2(105)	7.5	6.7
	3+0	.24	.5	68	376	0.2	242	85	23.9	53.0(99)	7.8	6.4
7	3+2	8.24	.6	68	392	0.3	268	85	23.8	56.1(105)	7.5	6.7
	3+0	.24	.5	68	366	0.2	237	84	23.5	50.4(94)	7.5	6.4
ニシホマレ(7+3+2)	8.31	10.11	80	327	0	249	86	24.1	53.4(100)	6.0	7.5	
基肥(A)	-	-	ns	ns	ns	ns	ns	**	ns	ns	ns	
穂肥(B)	-	-	ns	*	ns	**	ns	†	**	ns	**	

注1) 6月21日移植。**, *及び†は各1、5及び10%水準で有意(夢一献のみについて分散分析)。nsは有意差なし。

2) 倒伏は0(無)~5(甚)の6段階評価。

3) 精玄米重、登熟歩合、千粒重、検査等級および玄米タ^oクは1.8mm以上の玄米。

4) 精玄米重の()内の数値は、ニシホマレを100とした比率。

5) 検査等級は1(1等ノ上)~9(3等ノ下)、規格外の10段階評価。

表2 施肥法別の酒造適性 (平成17~18年平均)

施肥法	砕粒率	吸水性		消化性		
		20分	120分	蒸米吸水率	Brix	
Nkg/10a	%	%	%	%		
5	3+2	6.9	25.7	29.4	134	7.8
	3+0	8.5	25.6	29.4	135	8.2
7	3+2	7.4	25.2	28.7	135	7.4
	3+0	6.1	25.6	29.2	134	7.9
ニシホマレ	23.7	23.6	26.8	132	6.6	
基肥(A)	ns	*	**	ns	*	
穂肥(B)	ns	ns	ns	ns	**	

注1) 6月21日移植。分散分析と有意性の説明は表1に同じ。

2) 酒造適性は酒造用原料米全国統一分析法(酒米研究会1996)により評価。砕粒率が低く、吸水速度が早く、最大吸水率およびBrix度が高いほど酒造適性は優れる。

表3 6月30日移植における収量および品質 (平成17~18年平均)

施肥法	出穂	成熟	稈	有効	倒伏	m ² 全	登熟	千粒	精玄	検査	玄米	
基肥 穂肥	期	期	長	穂数	程度	歩合	歩合	重	米重	等級	タ ^o ク	
Nkg/10a	月.日	月.日	cm	本/m ²		x100	%	g	kg/a		%	
5	3+2	8.28	10.11	71	414	0	297	84	24.1	62.0(116)	7.5	6.5
7	3+2	8.28	.12	72	456	1.0	312	81	23.8	62.4(117)	7.5	7.0
ニシホマレ(7+3+2)	9.7	10.20	91	377	1.1	299	85	24.0	60.9(114)	4.0	7.6	
基肥(A)	-	-	*	*	ns	†	†	*	*	ns	**	

注1) 精玄米重の()内は表1の6月21日植ニシホマレを100とした比率。

2) 分散分析と有意性の説明は表1に同じ。穂肥(B)の表記は略。

[その他]

研究課題名: 酒造用米品種「夢一献」の高品質安定栽培法

予算区分: 経常

研究期間: 平成18年度(平成17~18年)

研究担当者: 佐藤大和、石塚明子、井上拓治、福島裕助